

Appier

ESG

コミュニケーション戦略

APPIER ESG への取り組み



昨今は至る所で人工知能（AI）が使われていますが、かつては将来の話で空想上のことだと言われていました。Appier の創業者たちは、AI テクノロジーには、人々の働き方、暮らし方、遊び方を根本的に変化させ、より良い方向に導く力があると考えています。私たちの生活にさらなる利便性と幸福をもたらすために、Appier は AI の専門知識の応用に取り組んでいます。

Appier は数々の失敗を乗り越え試行錯誤をした結果、創業されました。当社を率いているのは、AI、データ分析、分散処理システム、マーケティングの専門知識を有するコンピューターサイエンティストとエンジニアから成る、熱意あふれる経営陣です。Appier のミッションは、ソフトウェアのインテリジェンスを向上させ、データ主導で経営判断ができるように支援を行い、AI でビジネスに活力を与えることです。当社は、AI を実装したエンタープライズソフトウェアにより、より正確で、自動化され、さらに先見性のある意思決定が実現できる未来を思い描いています。

意欲に溢れた優秀な「Appiers（Appier の従業員）」は、顧客企業が日常的に直面するビジネス課題を解決するため、誰もが AI アプリケーションに簡単にアクセスできるように、日々尽力しています。Appier の企業文化には、向上心、オープンマインド、ダイレクトなコミュニケーションというコアバリューが組み込まれています。当社は、AI を活用したダイナミックな試みやイノベーションを通じて、世界が直面している課題に立ち向かい、アフターコロナの時代におけるデジタルトランスフォーメーションを支援しています。

当社のこうした考え方に基づき、Appier の様々なステークホルダーをサポートするためには、持続可能なビジネスを構築すべきであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）の側面を中核に据えることが大切です。Appier のビジネスにおいて重要な ESG 課題を明らかにして管理することは、財務面で安全かつ安定した投資目標を定めている既存投資家や潜在投資家の皆さまにとって必要不可欠なばかりでなく、当社の勤勉な社員、お客様、関連業者の皆さまに対して全責任を持つ、思いやりと責任ある企業としての Appier にとっても必須のことです。

Appier は、2021 年 3 月に東京証券取引所へ上場いたしました。これを契機として、卓越した ESG の実現に向けてよりいっそう意欲的に取り組み、積極的にステークホルダーの皆さまとエンゲージメントを図っていく所存です。これは将来のビジネスに対する Appier のビジョンでもあります。

当社は、部門ごとに ESG の動向を分析し、投資家、お客様、社員、関連業者様といった主要なステークホルダーと連携して、Appier のビジネスにおいて最も関連性が高い ESG トピックを特定し、それらを ESG 戦略の計画にまとめました。これにより、各トピックを念頭におきながら、当社の業務とビジネス戦略へ組み入れることが可能となります。

当社は、ESG の実現という目標をステークホルダーの皆さまと共有していることを光栄に思います。この「ESG コミュニケーション戦略ブック」には、Appier の ESG に関する優先課題と、これまでに達成したマイルストーンが示されています。また、今後数年間にわたる Appier の意欲的な ESG 目標と戦略も明記されています。これからも、パートナーの皆さまと共に、社会の持続可能な発展に貢献できるよう取り組んで参ります。



APPIER の ESG 優先課題と戦略のフレームワーク

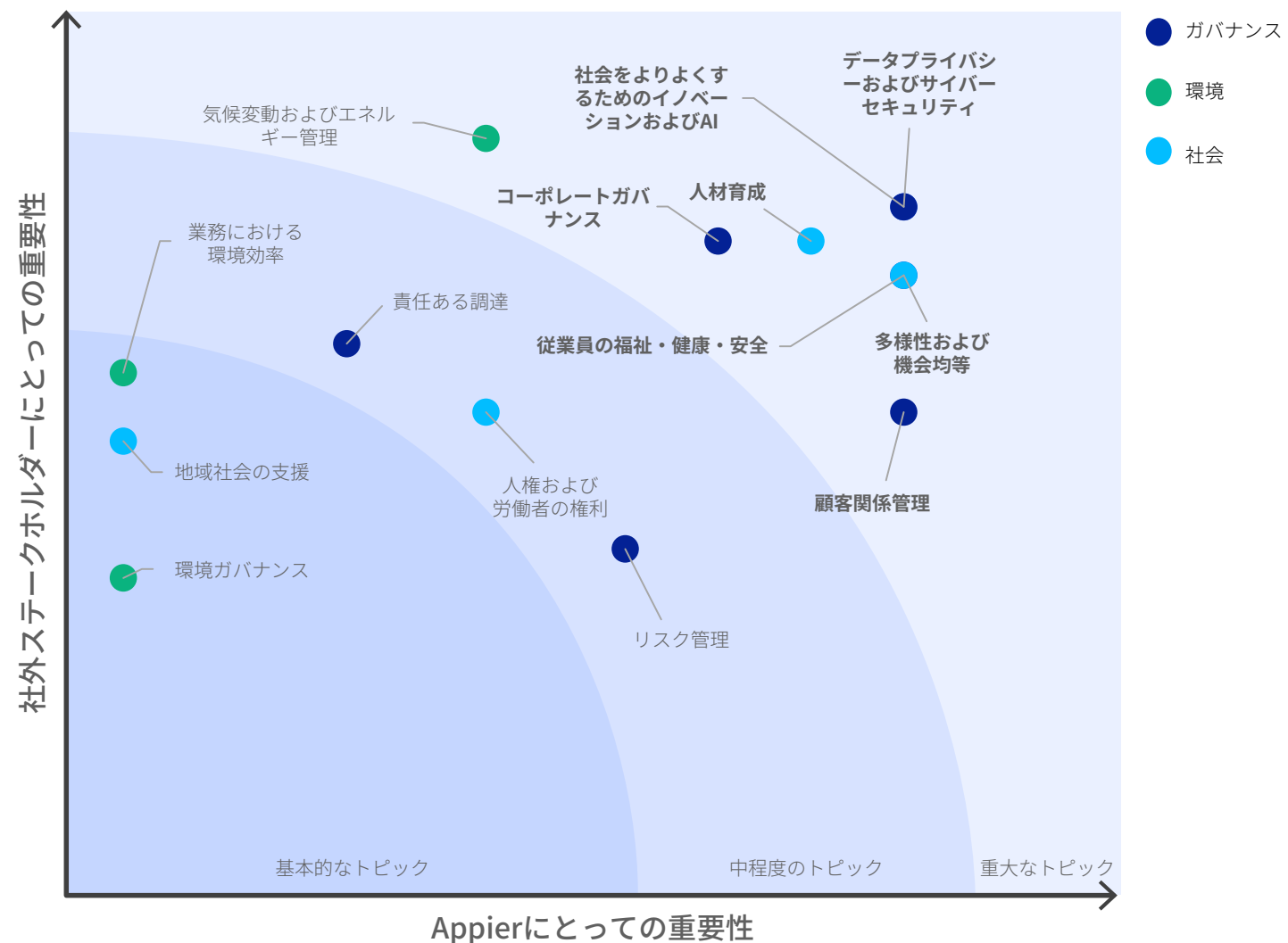
マテリアリティマトリックス

Appier のビジネスにおける ESG の優先トピックを明らかにするために、以下のプロセスに従ってマテリアリティアセスメントを実施しました。

1. 世界およびアジアのテクノロジー／ソフトウェア分野における ESG の動向分析
2. 社内外のステークホルダーとの面談
3. 社外ステークホルダーおよび Appier のビジネスに関連する重要性に基づき、Appier のビジネスにおいて重要な ESG トピックの優先順位付け
4. マネジメントチームとのエンゲージメントを通じたアセスメント結果の検証

マテリアリティアセスメントの結果を、マテリアリティマトリックスとして右にまとめています。このマトリックスは、Appier のビジネスにおいて最も重要なものとして特定された 14 の ESG トピックを示しています。社内外のステークホルダーに関連する重要性に基づき、これらのトピックをさらに「重大なトピック」、「中程度のトピック」、「基本的なトピック」に分類し、マテリアリティのレベルを表しています。

この作業により、ESG に取り組むにあたってリスクや機会をもたらす、当社が直面している主要な課題に対する理解を深めることができました。



重大なトピック：Appier の差別化につながる、報告およびコミュニケーションで重視すべきトピック
 中程度のトピック：目標の設定・管理のためのトピック
 基本的なトピック：監視および順守のためのトピック

ESG 戦略フレームワーク

重要課題の特定（マテリアリティ分析）による ESG の優先トピックに基づき、以下の ESG 戦略フレームワークを定め、ESG の目標と今後の取り組みを整理しました。



環境に配慮した業務

ESG のフレームワークにおける 1 つ目の柱は、「環境に配慮した業務」です。AI ソフトウェアソリューションは、Appier だけでなくお客様の業務の資源効率と環境パフォーマンスも向上させ得る大きな可能性を秘めていると当社は考えています。気候変動の時代において、Appier はバリューチェーンパートナーと連携し、回復力のある低炭素経済へのグローバルな移行に参画していきます。これは、シームレスな取り組みで環境ガバナンスを強化し、温室効果ガス（GHG）などのフットプリントを削減するとともに、気候関連のリスクへの適応能力を向上させることによって達成できます。



従業員の幸福度向上

ESG のフレームワークにおける 2 つ目の柱は、「従業員の幸福度向上」です。デジタルソリューションプロバイダーである Appier にとって、従業員は最も大切な資産です。当社が提供するソリューションの開発には、AI に関する集約された専門知識が必要です。競争の激しいハイテク業界でスキルの高い従業員を獲得し維持することは、Appier にとって最優先のタスクです。当社は、各種の福利厚生や支援制度を通じて従業員の福祉に配慮しています。また、当社は社員一人ひとりを尊重した人材管理を行っており、

性別、国籍、人種といった個人の能力とは関係のない属性を問わず、当社のコミュニティの全員に均等な機会を提供する企業文化を有しています。さらに、AI 研究の進歩を積極的に後押しするために、教育機関と連携して若手の人材への助成を行っています。



責任あるビジネス

ESG のフレームワークにおける 3 つ目の柱は、「責任あるビジネス」です。これには、お客様をはじめとする幅広いステークホルダーにとって信頼と信用に値する、倫理的で透明性と責任のあるビジネスを構築するための要素が含まれます。

マテリアリティ分析では、Appier のビジネス特性を踏まえて、ガバナンスに関する複数の重要課題が明らかになりました。データのセキュリティとプライバシーは、Appier にとって重大なトピックです。当社の業務は、お客様やエンドユーザーにとって機密性の高い大量のデータを使用しているため、プライバシーが一切侵害されない場所で保護対策を講じることが最優先事項となっています。また、AI アプリケーションの説明能力や責任といった本質的な概念を重視しながら実際の課題に対処するという革新的なアイデアに基づく AI ソリューションの開発を目指しています。AI テクノロジーは、人類の発展において極めて有力な技術になり得ますが、必ずしも常に人間にとってわかりやすいものではないため、不信感や疑いを招く可能性があります。また、AI が誤用されて社会に害をもたらし得ることも懸念されています。したがって、AI を活用したソリューションをエンドユーザーに対して説明可能で責任を負えるものにするこ

が、Appier のビジネスの成功だけでなく、AI テクノロジーの開発全般においても必要不可欠です。

コーポレートガバナンスと顧客関係の管理も、Appier にとって重要なトピックです。当社は、方針の策定と優れた実践を通じて、倫理的で責任ある方法でビジネスに取り組んでいます。それらは、Appier の調達およびリスク管理のアプローチにも反映されています。





ESG 優先事項の管理における APPIER のアプローチ

次の3つの表は、ESG 戦略フレームワークについて、各 ESG 重要課題の定義と Appier にとっての重要性を示しています。また、トピックごとに Appier が現在採用している管理のアプローチと取り組みも記載しています。Appier は今後も、各 ESG トピックについて、より戦略的な目標と対策で ESG パフォーマンスの向上に努めます。





環境に配慮した業務

環境面の成果に貢献するために、業務およびバリューチェーンによる影響を慎重に管理します。

重要トピック

定義および Appier にとっての重要性

Appier の現在のアプローチおよび取り組み

気候変動およびエネルギー管理

Appier の業務とサプライチェーンにおいて、GHG の排出とエネルギーの使用量を管理して説明責任を負い、再生可能エネルギーへの転換を図るとともに、気候関連のリスクと機会を管理します。

業務による影響の最小化：環境に配慮した持続可能なオフィス→ Hua Nan Commercial Bank Corporate Plaza（華南銀行總行世貿大樓）にある Appier の台北オフィスは、2015 年に LEED ゴールド認証を取得し、2016 年には台湾 EEWB ダイヤモンド認証を取得しました。この建物は、拠点の持続可能性、エネルギーと大気、水の利用効率、材料と資源、室内環境など、48 項目の LEED 評価基準を満たしています。

業務における環境効率

業務が環境に及ぼす影響を管理し、効率性、保全、削減に関する取り組みによって水や廃棄物の課題に対応します。

低炭素経済への移行を支援：Appier の AI ソリューションは、スマートワーキング¹を支援し、お客様による GHG の削減に貢献しています。

環境ガバナンス

方針、ガイドライン、管理システムによって、環境関連のトピックを管理し、規制要件を順守します。

環境ガバナンスの漸進的な強化：Appier は、気候変動の時代における環境ガバナンスの強化の重要性を認識しています。優れた環境の取り組みを調査し、当社の ESG 戦略に徐々に組み込んでいきます。

1. スマートワーキング：仕事のパフォーマンスと満足度を向上させるための、先進技術を活用した新しい柔軟な働き方。



従業員の幸福度向上

Appier の従業員と Appier がビジネスを展開している地域社会の発展および福祉を支援します。

重要トピック

定義および Appier にとっての重要性

Appier の現在のアプローチおよび取り組み

人材育成

適切なスキルを有する適切な人材の雇用、管理、プロフェッショナルとしての育成を行い、Appier のビジネス戦略を達成します。

Appier が重視し目指す ESG の考え方を持つ人材の雇用および研修：Appier は、社会において長期的な成長と持続可能性を重視する企業文化の形成に努めています。企業の持続可能性は、将来を見据えた人材の維持につながる独自の価値であると当社は考えています。また、社内人材のスキル向上を目指して継続的に研修を実施し、そうした考え方を日常業務に組み込んでいます。

多様性および機会均等

性別、宗教、人種、年齢、民族性、性的指向、教育などのさまざまな属性を持つ従業員をサポートする開発プログラムを提供します。これには、全従業員の公平な待遇や報酬など、全員に均等な機会を提供することが含まれます。

コアバリューとしての多様性、公平性、一体性 (DE&I)：

- Appier は、17 の市場にオフィスを構えており、従業員は現地で雇用し、性別、宗教、人種、年齢、配偶者の有無などの個人的な属性にかかわらず、実績に基づいて福利厚生と均等な機会を提供しています。Appier のチームの DE&I は、そうした環境を基盤として推進されています。

- DE&I は Appier の行動規範においても強調されており、当社全体の正式な方針の一つとなっています。

従業員の福祉・健康・安全

労働安全衛生や、社会的、経済的、精神的、身体的な幅広い福祉を含む、従業員の福祉・健康・安全を守ります。

安全かつ健全で思いやりのある労働条件：

- Appier は、従業員にさまざまな支援と福利厚生を提供しています。これには、競争力のある報酬、団体医療保険、従業員紹介賞与、標準的な制度よりも優れた年次有給休暇制度、広々とした柔軟な職場環境、実地研修（OJT）、レクリエーションなどが含まれます。
- Appier の行動規範には、リスクのない環境で働くことも含まれています。暴力や虐待、健康や安全を脅かす恐れのある潜在的な危険性があった場合に、従業員が利用できる報告窓口もあります。

人権および労働者の権利

Appier の業務およびサプライチェーンにおいて、確固たる人権および労働者の権利行使を擁護します。

人権侵害の不容認： Appier は民主主義社会に根差している企業として、職場における人権と労働者の権利を強く支持し、関連法規を厳守するだけでなく、より厳格な対策も実施しています。Appier でそれらの権利の侵害、剥奪、差別が見られたことはありませんが、そのようなことが起こった場合には一切容認しません。

地域社会の支援

地域社会とのエンゲージメントを図るために、CSR への取り組みなどでコミュニティとの関係を構築し、Appier のビジネス活動に関係するコミュニティへのポジティブな社会的影響を創出します。

産学連携を通じた人材への助成：

• Appier は 2016 年から「Top Research Awards Program for Artificial Intelligence and Information Technology（人工知能および情報技術に関する優秀研究表彰プログラム）」に 500 万台湾ドル（約 18 万米ドル）の助成金を提供しています。このプログラムは、高等教育課程の学生に対して、研究を通してマクロ的な視点を育み、革新的なテクノロジーに関する国際交流への積極的な参加を奨励するものです。

→効果：104 人の学生が主要な国際学術会議で研究を発表しました。

• 学生以外にも、Appier は 2020 年に国立台湾大学の電気工学・コンピューターサイエンス学部の「Appier AI Chair Professor Program（Appier AI チェアプログラム）」に対する寄付を行い、優れた AI エキスパートに報奨を与え、AI の研究開発を支援しました。

→効果：最先端の重要な AI 研究が長期的に可能になりました。



責任あるビジネス

強固で倫理的なガバナンスシステムを維持し、リスク管理と**責任ある製品**の提供を行います。

重要トピック

定義および Appier にとっての重要性

Appier の現在のアプローチおよび取り組み

データプライバシーおよびサイバーセキュリティ

データの収集、保管、処理、使用、共有のための安全な情報システムおよびネットワークの構築により、個人の情報やデータまたは機密性の高い情報やデータを保護します。これには、サイバー脅威環境における動向の追跡や、サイバーセキュリティシステムの有効性を常に維持するためのアップデートも含まれます。

ISO/IEC 27001:2013 認証の取得によりデジタルセキュリティを確保：Appier は、2020 年に ISO/IEC 27001:2013 認証を取得しました。この認証は、AI クラウドを活用したオーディエンス行動マーケティングプラットフォーム (AIQUA(アイコア)、AIXON(アイソン)、AiDeal(アイディール)、CrossX(クロスエックス)) のライフサイクル全体にわたる情報およびセキュリティの管理活動を対象としています。

一般データ保護規則 (GDPR) の順守：Appier は、GDPR を順守するために、部門を跨いだメンバーで構成される担当チームを立ち上げました。このチームは、Appier が GDPR 関連のすべての法令上および契約上の義務を満たしていることを確実にします。当社はまた、セキュリティ、データアクセス、違反に関する方針を導入し、それらのトピックについて従業員教育を実施しました。

Trustworthy Accountability Group (TAG) が制定した Certified Against Fraud Seal(アドフラウド対策認証) の達成：TAG は、犯罪行為と闘い、デジタル広告業界の信頼性を向上させることを目的とし、詐欺行為を目的としたトラフィックの排除と、脅威インテリジェンスの共有を目指しています。これらは、デジタル広告のサプライチェーン全体にわたってサイバーセキュリティを強化し、透明性の向上を図る上で、必須の取り組みであると Appier は考えています。

改善のためのイノベーションおよび AI

説明能力と信頼性を強化するために、説明責任、公正さ、透明性の原則に基づいて革新的な AI ソリューションを開発し、責任ある方法で環境と社会にポジティブな影響を与えられるように設計します。

適切なオーディエンスに適切なタイミングで適切なメッセージを届ける正確なマーケティング：Appier の AI ソリューションによって、企業はエンドユーザーのニーズを正確に特定し、スパムやプライバシー侵害と見なされるリスクがある無作為のキャンペーンを何度も送信することなく、興味関心の関連性が高いマーケティングコンテンツを提供することができます。

アフターコロナの時代においてデジタルトランスフォーメーションを後押しする AI：Appier は、ビジネス分野に大きな変革をもたらす、AI を活用した革新的なソリューションの提供に取り組んでいます。オンライン取引、データ分析、自動化といったデジタルアプリケーションは、ビジネス上の強みとなるだけでなく、アフターコロナの時代におけるビジネスの継続性と成長にも欠かせません。

信頼を育む説明可能な AI：Appier の AIXON（アイソン・データサイエンスプラットフォーム）は、意思決定において最も重要な不確定要素の提示と可視化が可能です。これによりお客様は、AI 主導の意思決定における論理的根拠を理解できます。

コーポレートガバナンス

あらゆるステークホルダーとどのようにビジネスを行うかを含む、健全で信頼できるビジネス方針とビジネス慣行を通じて、Appier が活動しているすべての地域において、責任を持って倫理的にビジネスを行います。責任あるガバナンスには、金融犯罪防止の仕組み、透明性のある取り組み、詐欺・汚職・反競争的行為を防止する仕組み、知的財産の尊重、責任ある税務原則などが含まれます。

倫理的で責任あるガバナンスを強化するための正式な社内方針：

- Appier は、グローバル行動規範と汚職・賄賂防止方針を統合しました。いかなる不正行為も隠蔽されないように、また Appier にとっての優れたガバナンスと当社のコミュニティの全員がそれを実践する方法についてあらゆるレベルで誤解が生じないように、社内ではオープンかつダイレクトなコミュニケーションを奨励しています。
- 行動規範に対する違反があった場合は、苦情処理制度を利用できます。

顧客関係管理

Appier のサービスを明確かつ十分に説明する責任あるマーケティング・販売慣行を含めて、顧客満足とお客様の権利を確保します。このトピックには、顧客満足度のモニタリングや、お客様からのフィードバックと苦情の反映なども含まれます。

お客様の課題を解決する対象を絞ったソリューション：

Appier は、お客様が直面している中核的な課題を特定し、AI の専門知識に基づいた適切なソリューションを提供することを目指しています。これによって、お客様の業務の円滑化を図り、お客様の製品やサービスに付加価値をもたらすだけでなく、競合他社に対するお客様の競争力も強化します。

リスク管理

リスク管理において、財務の安定性や、関連するシステミックリスクとエクスポージャーの管理に重点的に取り組みます。これには、技術的混乱、政情、人口動態の変化、市場と評判の変化、壊滅的な事象、またはビジネスに影響を及ぼす気候変動などの事象が含まれます。

リスク管理を強化するための正式な要件：Appier は、全社的なリスク管理手順の基本要件を定めたりスク管理規程を制定しました。これにより、当社が重大なリスクにさらされる可能性がある出来事が発生した際に関係者（幹部から一般従業員まで）が当社の損失を最小限に抑えるように配慮しながら対応する方法を理解できるようにしています。

責任ある調達

持続可能な調達慣行によって、バリューチェーン全体で、気候変動対策、廃棄物削減、適正な労働条件への寄与、人権といった環境的目標および社会的目標を達成できるようにします。

正式なサプライヤー管理手順：Appier は、インターネットを活用している企業として、サプライヤー管理手順においてデータのセキュリティと GDPR の順守を重視しています。サプライヤーを選定する際には、承認する前にデューデリジェンスと現場視察を実施することを義務付けています。さらに、文書化した基準はありませんが、クラウドサービスを提供するサプライヤー候補が定めている再生エネルギー目標を考慮することを検討しています。

APPIER の ESG への取り組み

Appier は 2021 年に ESG への取り組みを開始しました。ESG 目標の設定とロードマップを完成させる一方で、さらに重要なこととして、ビジネス上の意思決定と日常業務のあらゆる側面に ESG を組み込むために、今後数年間の計画を事前に計画しています。また、バリューチェーンパートナーや関連するコミュニティを含む幅広いステークホルダーと協力し、取り組みの拡大に努めています。最終的には、AI 産業における ESG のベストプラクティスを策定し、その取り組みやさらなる成功事例を共有するために、サステナビリティレポートを毎年発行することを目指しています。Appier は 2021 年に ESG への取り組みを開始しました。ESG 目標の設定とロードマップを完成させる一方で、さらに重要なこととして、ビジネス上の意思決定と日常業務のあらゆる側面に ESG を組み込むために、今後数年間の計画を事前に計画しています。また、バリューチェーンパートナーや関連するコミュニティを含む幅広いステークホルダーと協力し、取り組みの拡大に努めています。最終的には、AI 産業における ESG のベストプラクティスを策定し、その取り組みやさらなる成功事例を共有するために、サステナビリティレポートを毎年発行することを目指しています。

